

Ⅲ. 財務の概要

1. 事業の予算執行

平成20年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、20年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

・3号館耐震補強・改修工事及び学生支援センター設置	698,000千円
・如修塾の空調設備更新・外壁補修・屋上防水	27,220千円
・岡本寮の空調・ボイラー更新他	4,330千円
・体育館改修	3,160千円
・西宮グラウンド防球ネットかさ上げ	3,150千円
・学内防犯設備対策	8,090千円
・学生メール・サーバ更新	6,860千円
・実習用顕微鏡30台(更新2年目)	4,030千円
・実習用電子天秤54台	1,920千円
・コンピュータ教育用パソコンリース	3,840千円
・OSCE関係費用	3,410千円

他

2. 法人会計決算

(1) 資金収支計算書(総括表)

収入面では学部入学者数が288名と当初の想定を上回り、手数料収入・補助金収入・資産運用収入・事業収入・雑収入も見込み額を超えたことなどにより、総収入は4,805百万円と予算を97百万円上回りました。

また、支出面では退職金が見込み額を大幅に上回り、また、各種引当資金への積増し等も行いましたが、執行の見直しや経費節減に努めた結果、次年度繰越支払資金は対前年度比127百万円減の921百万円となったが、前受金収入437百万円は十分カバーできる決算となりました。

(2) 消費収支計算書(総括表)

消費収支については、収入面では資金収支の内容を踏まえ、資金収入に現物寄付を加算計上した後、帰属収入から基本金組入額を控除し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算しました。その結果、当年度の消費収支は231百万円の支出超過となり、前年度からの収入超過額1,590百万円が減少し、翌年度の繰越収入超過額は1,359百万円となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において減価償却の進捗があり、第2号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では259百万円増加し、20,568百万円となる一方、負債総額は借入金の返却等から2,020百万円と減少し、期末純資産額(資産総額－負債総額)は前年度に比べ403百万円(2.2%)増の18,549百万円となりました。

3. 財務運営の状況

当法人の過去5年間（平成16年度～20年度）の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
 - ・資金収支の状況
 - ・消費収支の状況
 - ・貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録